



女性作曲家でめぐる クラシック音楽会

～壮絶な人生を経験した女性たちの音楽～

レベッカ・クラーク



クララ・シューマン



ドーラ・ペヤチェヴィチ

アルマ・マラー



2025年 8月3日(日) 13:30 開場 14:00 開演 鎌倉芸術館 小ホール
(神奈川県鎌倉市大船6-1-2)

全席自由 3,500円 高校生以下 1,500円

チケット・お問い合わせ

鎌倉芸術館 0467-48-5500 (受付時間 9:00~19:00 ※休館日は除く)

ヴォノーシュ トリオ事務所 TEL: 0463-72-1015

メール: lupianoconcert@gmail.com



出演者

ピアノ ファルカシュ 夕起

ソプラノ 相馬百合江

ヴァイオリン 岡田清香

ヴィオラ 白井英峻

チェロ 白井彩

プログラム

Rebecca H. Clarke / Passacaglia on an Old English Tune

レベッカ・クラーク:

古いイギリスの調べによるパッサカリア

Alma Mahler / 5 Leider

アルマ・マラー: 5つの歌曲

Clara Wieck-Schumann / Piano Trio Op. 17 g minor

クララ・シューマン: ピアノ三重奏曲 作品17

Dora pejačević / Piano Quartet in D minor, Op. 25

ドーラ・ペヤチェヴィチ: ピアノ四重奏曲 作品25

ほか

主催: ヴォノーシュ トリオ

後援: 「一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ビティナ)」

ハンガリー大使館 / リスト・ハンガリー文化センター



出演者プロフィール

ピアノ ファルカシュ ユキ Yuki Farkas

3歳よりヤマハ音楽教室にてピアノを始める。岡山城東高校音楽科、お茶の水女子大学にて学士号及び修士号を取得。2011年、ハンガリー国立リスト音楽院に留学し、Kálman Dráfi教授のもとで研修を積む。東京ピアノコンクール第3位、日本国際芸術家協会コンクール第1位及び特別賞、Enterpe Music Competition第1位(イタリア)受賞。現在、リスト音楽院チューバ科Szentpáli Roland教授、トランペット科Bordosky Gábor教授クラスの伴奏助手を務める。また、ハンガリー音楽学校にてピアノ教育に携わり後進の指導にあたる。教育活動の一環とし、音楽を通して日本の文化紹介をしている。オリジナル作品を作曲し、ハンガリー語に訳した日本の絵本を音楽付きで上演し、ハンガリー国内で好評を得ている。



Piano

ソプラノ 相馬百合江 Yurie Souma

名古屋芸術大学音楽学部音楽教育学科卒業。桐朋学園大学音楽学部声楽科C・ディプロマ4年修了。ラスカーラ熊本G.ヴェルディ生誕200年記念行事「アイダ」のタイトルロールにてオペラデビュー。その後「ハムレット」王妃役、「アラベラ」アデライーデ役、「運命の力」プレチオジッラ役、「カヴァレリア・ルスティカーナ」マンマルチア役などでも活躍。2023年に王子ホールにて「トスカ」を主催・主演し好評を博した。最近ではスタジオ・ユリエールを立ち上げ、食事付きのチャペルコンサートを毎年開催している。声楽をニコラ・ロッシ・ジョルダーノ氏、田口興輔氏、名古屋木実氏、千葉清子氏に、オペラ音楽をステファノ・マストランジェロ氏に学んだ。日本演奏連盟、二宮演奏家協会、コンセル・C会員。スタジオ・ユリエール代表。



Soprano

ヴァイオリン 岡田清香 Sayaka Okada

神奈川県出身。桐朋学園大学附属女子高等学校音楽科、カーティス音楽院(アメリカ)にて学び、帰国後大阪センチュリー交響楽団に首席第2ヴァイオリン奏者として入団する。大阪フィルハーモニー交響楽団、神戸室内管弦楽団、大阪交響楽団など、首席奏者として客演。また、兵庫県立芸術文化センター管弦楽団の創設メンバーとして活躍し、その間フォアシュビラー(首席奏者)を務める。その後渡米し、フォートワース交響楽団を経てサンアントニオ交響楽団に入団、18年間在籍。ソリストとしてサンアントニオ交響楽団と共演、また「東日本大震災復興支援コンサート」においてもソリストを務め、収益は日本赤十字社へ寄付された。現在は富士山静岡交響楽団首席第2ヴァイオリン奏者として活躍。その他ソロや室内楽、後進の指導にも力を入れている。箱根初のオペラ「Opera in箱根」プロジェクト発足メンバー、代表奏者。(2025年12月21日公演予定)「箱根アンサンブル」代表。



Violin

ヴィオラ 白井英峻 Hidetaka Shirai

3歳よりピアノとヴァイオリンを始め、14歳でヴィオラに転向。第3回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第3位受賞。愛知県立芸術大学音楽学部卒業。また、同大学大学院博士前期課程修了。在籍中に交換留学生としてハンガリー国立リスト音楽院にて1年間研鑽を積む。留学中、ハンガリーにて開催されたルカーチ・バル国際ヴィオラコンクールに入選し、フンガロトン賞を受賞する。ヴィオラスペース第25回記念2016 NAGoya Aに出演。A.タメスティ、今井信子、百武由紀諸氏と共演する。これまでにヴィオラを滝沢達也、菅沼準二、百武由紀、M.ヴァルナジ、L.バルジョニの各氏に師事。B.バスキエ、ピエールアンリ・グゼレフのマスタークラス受講。現在、小田原ジュニア弦楽合奏団講師など演奏活動の傍ら後進の指導にあたる。



Viola

チェロ 白井彩 Aya Shirai

北鎌倉女子学園高等学校音楽科卒業。東京藝術大学卒業。同大学による室内楽定期演奏会に弦楽四重奏として出演。ハンガリー国立リスト音楽院マスター修了。選抜にて卒業試験リサイタルをリスト音楽院大ホールにて開催。また、同音楽院にて室内楽科ポストグラデュエイト課程においてもディプロマを取得。ハンガリー政府奨学金生。ハンガリーにてサヴァリア交響楽団、ブダペスト市立ズグー交響楽団団員を経て、2020年3月完全帰国。小田原フィルハーモニー交響楽団など湘南シンフォニエッタ等のオーケストラとコンチェルトを度々共演。2022年3月には、小田原三の丸ホールにて開館記念事業ホール企画・2日間別プログラムリサイタル「セロ弾きのアヤ」に挑戦し好評を得た。現在、小田原ジュニア弦楽合奏団講師。アンサンブルラディアント音楽監督。小田原カルチャーアワード副委員長。小田原音楽連盟会長。



Violoncello